

業務仕様書

1. 件名 採水調査装置整備業務
2. 業務目的 当所所属漁業調査船蒼鷹丸において採水調査に使用する装置（構成：本体フレーム、CTDセンサー、採水器（以下、ニスキンボトルという）、カルーセル）のニスキンボトル（General Oceanics 製 GO-1010X 型 容量 10L および 12L）について、ボトルがフレームから脱落する、閉蓋の信号を受信しても蓋が閉まらない、閉蓋後に水漏れが発生する、採水後に水抜き弁・空気抜き弁が開きにくいなどの不具合が発生している。本業務は、現在使用しているニスキンボトルに関する上記問題の解決と、不具合を未然に防止することを目的とする。
3. 納入場所 神奈川県横浜市金沢区幸浦 1-7-4
国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所 船舶陸上施設
及び蒼鷹丸（金沢木材埠頭）
4. 履行期限 令和 4 年 1 月 11 日
5. 業務内容 ニスキンボトルの不具合を解決・未然防止するため、以下の整備を行うこと。
なお、採水調査装置一式について、（蒼鷹丸及び船舶陸上施設）に保管しているので、事前に現物の確認及び担当者と調整の上、整備について相談を行うこと。
 - ・ニスキンボトル 45 本の蓋の開閉に必要なテグスの長さや張力を調整し、閉蓋後には漏水がないことを確認する。作業は蒼鷹丸第四次航海（8/20～9/14 予定）の前後に（蒼鷹丸航海及びドック期間中は除き、スケジュール調整については当所担当者に相談の上決定し）計 2 回に分けて実施すること。
 - ・ニスキンボトルの蓋まわりやランヤードガイドを点検し、破損等があった場合には機能維持のため補修材で修繕し、海洋観測に必要な本数（45 本）を維持すること。なお、ニスキンボトルの損傷が激しい場合には当所担当者に相談し、指示に従うこと。
 - ・カルーセルのトリガーの動作を点検し、動きの悪いトリガー部分の清掃を行い、正常に作動するように調整する。

- ・ニスキンボトルに漏水の原因となる汚損がある場合は洗浄方法を発注者にレクチャーする。

6. その他 詳細については担当職員の指示に従うものとする。